

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

那珂市「一人ひとりが輝くまちへの環境づくり」計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

那珂市

3 地域再生計画の区域

那珂市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現況

那珂市は、東京の北東100km余り、茨城県の中央よりやや北寄りに位置し、北側には久慈川が西から東へ、西側には、那珂川が北西から南東にそれぞれ流れ、久慈川と那珂川の沿岸に拓けた水田地帯と2つの河川に挟まれたほぼ平坦な那珂台地からなっており、豊かな自然に恵まれた地域である。本市の人口は、平成12年以降緩やかな減少傾向にあり、平成12年に55,069人いた人口は、平成27年には53,706人となり、将来的にはさらなる人口減少が予測されている。

4-2 地域の課題

近年、那珂市では、隣接市のベッドタウンとして発展しているものの、住民が快適な生活を営むための汚水処理施設について、依然として未整備の部分が多く残っているため、今後のまちづくりにおける優先すべき課題となっている。その結果、河川及び沼や農業用排水路等の自然環境の悪化や、市街地周辺集落における人口減少が課題となっており、汚水処理施設のより一層の推進による快適な住環境の提供が急務となっている。

4-3 計画の目標

こうした状況を踏まえ、地方創生汚水処理施設整備推進交付金により公共下水道及び農業集落排水の整備を一体的に推進することにより、本市の魅力ある豊かな自然や田園風景を残しつつ、市街地や周辺集落の住環境の向上をさせ、市民や転入者の定住促進を図る。また、さらなる人口減少社会に対応した地域づくりを目的として関連事業のまちづくり活動への参加促進を実施する。それらの結果、地域全体として生活雑排水の軽減や、自然環境の保全と農村環境の改善、及び時代にあった地域づくりが図られ、もって市民や転入者に住みよい環境の提供を目指すものである。

- (目標 1) 住みやすいと思う市民の割合
81.7% (平成 23 年) → 85.0% (平成 31 年)
- (目標 2) まちづくり活動に参加している市民の割合
42.0% (平成 25 年) → 平均 50.0% (平成 28 年～平成 31 年)

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

公共下水道については、昭和 56 年度に事業着手し、平成 27 年度末時点において全体計画 3257.8ha のうち約 1283.0ha が整備済みである。

また、農業集落排水については、酒出地区を除く地域において、整備済みである。

今後、更なる汚水処理施設の整備を推進するため、地方創生汚水処理施設整備推進交付金により公共下水道及び農業集落排水の整備を行うとともに、地域における清掃活動や景観維持活動を実施することにより、水質汚濁や悪臭などが解消を図り、もって自然環境が守られ市民が衛生的でうるおいのある生活を目指す。

5-2 第 5 章の特別の措置を適用して行う事業

(1) 地方創生汚水処理施設整備推進交付金【A3009】

- ・公共下水道・・・平成 26 年 3 月に変更事業認可取得
- ・農業集落排水・・・平成 26 年 1 月に事業承諾 (酒出地区)

[事業主体]

- ・那珂市

[施設の種類]

- ・公共下水道
- ・農業集落排水

[事業区域]

- ・公共下水道・・・那珂市下水道認可区域
- ・農業集落排水・・・那珂市酒出地区

[事業期間]

- ・公共下水道 平成 28 年度～平成 31 年度
- ・農業集落排水 平成 28 年度～平成 31 年度

[整備量]

- ・公共下水道 $\phi 200\text{mm} \sim \phi 300\text{mm}$ L=10,000m
- ・農業集落排水 $\phi 150\text{mm} \sim \phi 200\text{mm}$ L=10,135m

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

- ・公共下水道・・・事業認可区域全域 (整備済区域を除く) で 1,250 人
- ・農業集落排水・・・事業承諾区域全域 (整備済区域を除く) で 1,070 人

[事業費]

公共下水道	
事業費	1,150,000 千円（うち、交付金 575,000 千円）
農業集落排水	
事業費	1,746,300 千円（うち、交付金 873,150 千円）
合計 事業費	2,896,300 千円（うち、交付金 1,448,150 千円）

[事業の実施状況に関する客観的な指標及び評価の方法]

(平成/年度)	基準年 (H27)	H28	H29	H30	H31
指標 1 汚水処理施設の整備の促進 汚水処理人口普及率 5.2%の向上	79.3%	80.6%	81.9%	83.2%	84.5%

毎年度終了後に那珂市が必要な汚水処理人口普及状況の調査等を行い、速やかに状況を把握する

[事業が先導的なものであると認められる理由]

(政策間連携)

公共下水道及び農業集落排水を一体的に整備することにより、個別に整備するのに比べて、効率的かつ効果的な施設配置が可能となり、快適で魅力ある生活環境の整備といった地域再生の目標達成により資するとともに、全体の整備コストの削減が期待できるという点で、先導的な事業となっている。

5-3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、「一人ひとりが輝くまちへの環境づくり」を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に行うものとする。

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当無し

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 生活環境の保全

内 容 ボランティアで行われている清掃活動や景観維持活動などへ、月1回配布している市の広報、月2回配布しているお知らせ版などにより企業や班未加入者等へ周知することにより、参加を即し、住民参加による市街地や周辺集落の生活環境の保全をし、魅力的で快適に暮らせる住環境を創造する。

実施主体 那珂市

実施期間 平成28年4月～平成32年3月

6 計画期間

平成 28 年度～平成 31 年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

4に示す地域再生計画の目標については、計画期間の中間年度及び計画年度終了後に那珂市が必要な市民アンケート調査等を行い、速やかに状況を把握する。

市民アンケートの調査から割合の集計を行うことにより、目標の評価を行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	平成 23 年度 (基準年度)	平成 27 年度 (中間年度)	平成 31 年度 (最終目標)
目標 1 住みやすいと思う市民の割合	81.7%	83.4%	85.0%

	平成 25 年度 (基準年度)	平成 29 年度 (中間年度)	平成 31 年度 (最終目標)
目標 2 まちづくり活動に参加している 市民の割合	42.0%	平均 50.0%	平均 50.0%

(指標とする数値の収集方法)

項 目	収集方法
住みやすいと思う市民の増加	那珂市の市民アンケート調査より
活動に参加する市民の増加	那珂市の市民アンケート調査より

・ 目標の達成状況以外の評価を行う内容

1. 事業の進捗状況
2. 総合的な評価や今後の方針

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

4に示す地域再生計画の目標については、中間評価及び事後評価の内容を、速やかにインターネット（那珂市のホームページ）の利用により公表する。